

プロジェクト X ~酪農民と雪印のあゆみ~

今年2020年は雪印乳業食中毒事件（2000年）から20年の節目の年を迎える。そこで事件から20年を迎える今、【プロジェクトX】では酪農民と雪印の歩みを振り返る。第6回は2度の不祥事と事務局体制の解体について（引用文献：連盟記念誌、酪農風雲録）



「酪青研組織の再構築、そして前進へ」



今後の酪青研の在り方について討論(H14)

2000年（平成12年）6月に発生した雪印乳業食中毒事件でかつてない未曾有の危機に直面した酪青研事務局体制であったが、従来の落ち着きを取り戻しはじめていたのであった。

事件から翌年の2001年には、2月に発生したEUの口蹄疫発生に伴い海外酪農研修が中止になったが、日本連盟レディース全国の集いや第54回日本酪農研究会（名古屋大会）が盛大に開催され、食中毒事件以前の活動に戻りつつあり、全国各地の協議会においても活動が一時中断されていた地方事業も復活し、これまでの混乱を糧に活発な動きが見られる地方連も見られるようになった。

「雪印食品牛肉偽装事件の発覚と雪印ブランドの失脚」

2001年9月、日本国内において初の牛海綿状脳症（BSE）を疑う牛が発見され業界は大きく混乱した。食肉の安全性確保のための様々な法案整備が進められたが、このような状況下で2002年1月に雪印食品による国産牛肉買取事業の不正利用が発覚した。雪印食品はもとより、雪印グループとして2度に亘る社会的事件に対する世間の風当たりは相当なもので、雪印グループ製品の不買運動が全国で展開されるなど、雪印乳業の経営状況は再び急速に悪化する。



当時のニュース映像

「雪印乳業の分社化と事務局体制の分裂」

この事件の発覚後、2002年3月11日に開催された日本連盟正副委員長会議において、雪印乳業は会社としてどんな形になっても酪青研への支援を継続する姿勢を示し、日本連盟としても酪青研の灯は絶対に消すべきではなく事務局機能がどうなるうとも主体的な活動を継続することが確認され、何があっても酪青研は不滅であることが改めて確認された。

その後、雪印再建計画が発表され、市乳事業関係を分社化し、新会社日本ミルクコミュニティ(株)を設立することが正式に決まった。この結果今まで事務局機能を担ってきた工場などが雪印乳業から完全に切離され雪印乳業で全国的な事務局対応をすることが事実上不可能になった。この緊急事態を速やかに克服するために、雪印乳業を通じてグループ会社である雪印種苗へ緊急で支援を依頼すべく協議が行われた。

7月31日に開催された日本連盟常任委員会では、雪印乳業の経営陣から都府県の事務局体制を日本ミルクコミュニティへ継承することについては大きな制約があることが説明された。各地域で様々な激論が交わされ、11月に開催された定期総会で都府県の事務局運営体制は「健土健民」思想を共有する雪印種苗に酪青研事務局を移管することが決定された。雪印種苗・関係機関の全面的な協力が無ければ実現は出来ないものだった。

【雪印乳業分社化当時の酪青研事務局体制（2003年11月～）】

- 北海道：協議会・地方連共に大きな変更は無し
- 東北：協議会・地方連共に雪印種苗へ事務局移管
- 関東：協議会は雪印乳業、地方連は雪印種苗・八ヶ岳乳業に移管
- 東海：協議会は雪印乳業、地方連は雪印種苗・地域農協に移管
- 関西：協議会は雪印乳業、地方連は雪印種苗に移管
- 九州：協議会・地方連共に雪印種苗へ事務局移管

こうして雪印乳業食中毒事件、雪印食品牛肉偽装事件（雪印食品は後に解散）と雪印グループ2度の不祥事で酪青研運営体制は激動の時代を迎えることになり新体制での運営がスタートするのであった（続く）。



分社化された雪印グループ(様々な事業の売却)



雪印信頼回復活動「酪農生産者対話会(庭先)」



食中毒の原因となった雪印低脂肪乳(H12)



発行人：日本酪農青年研究連盟 十勝協議会 会長 高野 修一
事務局：雪印メグミルク(株) 大樹工場内(十勝協議会事務局 大山冬馬)
連絡先：TEL;01558-6-2121 FAX;01558-6-2124



おいせ 新型コロナに負けるな！ 激動の1年編

新型コロナで世界が大きく変わったこの1年。もうすぐ激動の2020年が終わります…

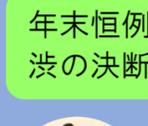
酪青研 現地事務局から会員の皆さんへ



大山事務局

役員の皆様との協議の結果、今年十勝協議会は感染終息まで酪青研活動を無期延期としてきました。皆さん、それぞれどのような年末をお過ごしですか？

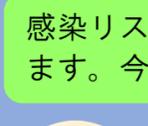
能瀬事務局長



大山事務局

そうですね！今年は本当にコロナに振回された1年でした。役員の皆様からは年度末に落ち着けば行事も…との意見もありますが厳しい現状が続いています。

能瀬事務局長



大山事務局

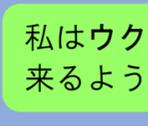
感染リスクを無くす為にも今は我慢の時ですが、きっと世界は良い方向に向かいます。今は会員・日本国民一丸となり感染防止に全力を尽くすことが必要です。

能瀬事務局長



大山事務局

こんな時だから逆転の発想で自分なりの楽しみを見つけることってとても大切です。健康には十分お気をつけ下さい。



【年末のご挨拶】今年も大変お世話になりました！

今年も皆様には大変お世話になりました！コロナウイルスの感染拡大は十勝でも深刻で、協議の結果、年末のご挨拶も出来る限り控えさせて頂くことに致しました。紙面上から大変恐縮ではございますがご理解頂けると幸いです。役員の皆様とは電話等により何度も行事開催に向けアクションを起こしてきましたが、そのたびに町内や管内での感染者拡大が続き行事を中止せざるを得ない状況となりました。けれどきっと、皆さんが健康であれば必ずお会い出来る日が来ると思っております。今年1年、本当にありがとうございました。来年もよろしくお願致します！

～穏やかな良い年末をお過ごしください～



大山冬馬



能瀬万里雄